

2015年5月 キューバ情勢

I 概況

1 内政

29日、閣僚評議会が開催された。

2 外交

(1) 岸田外務大臣がキューバを訪問し、ロドリゲス外務大臣、カブリサス副議長、ラウル議長及びフィデル前議長等と会談した。

(2) ラウル議長は、アルジェリア、ロシア、イタリア及びバチカンを相次いで訪問した。

(3) オランダ仏大統領がキューバを訪問した。

(4) 在ワシントン・キューバ利益代表部の銀行業務問題が解決された。

(5) 外交関係再開に向けた第3回米・キューバ政府間協議がワシントンで開催された。

(6) キューバのテロ支援国家指定が解除された。

II 内政

1 フィデル前議長の論考の発表

8日付当地紙グランマ等に、「マルクス・レーニン主義者である権利」と題された7日付のフィデル・カストロ前国家評議会議長の論考が掲載された。

2 ラウル議長のプレスに対する発言

12日、オランダ仏大統領を見送った後、ラウル・カストロ国家評議会議長はプレスの取材に応じ、EUの対キューバ共通ポジションに関する問題は解決されるだろうとの見方を示した他、経済改革については今後も急ぐことなく進めていく、29日のテロ支援国家指定解除後は大使の信任を含めた外交関係樹立及び大使館の開設に向けたプロセスを進めることが可能になる、米利益代表部員はこれまで、米利益代表部や利益代表部員自宅にて、フリー・ジャーナリストに対する研修を行う等の違法な活動を行ってきたが、このような活動は認められない旨述べた。

3 キューバの携帯電話契約数

15日、キューバでの携帯電話の契約件数が4月時点で300万件を超えた旨報じられた。

4 閣僚評議会の開催

29日、閣僚評議会が開催され、協同組合、医薬品の不足、成果に応じた報酬システム、国内の銀行システムの現代化、国の不動産の登録作業状況、2014年の汚職・不正事案

等につき協議がなされた。

III 外交

1 岸田外務大臣のキューバ訪問

(1) 4月30日から5月3日にかけて、日本の外務大臣として歴史上初めて、岸田外務大臣がキューバを訪問した。

(2) 30日、ハバナ到着後、岸田外相は、グティエレス・キューバ・日本友好議員連盟会長と会談を行い、両国関係を一段階引き上げることで一致した。

(3) 2日午前、岸田外相は、ロドリゲス外相と会談を行った。会談中、岸田外相は、今次訪問を機に両国関係を新しい段階に引き上げたい旨伝え、そのために、以下の3点に言及した。

ア 本格的な無償資金協力の開始。その第一号候補として医療機材の整備をするべく、秋に調査を実施することを伝達。

イ 経済関係を強化し、キューバの改革を後押しするために、官民合同委員会の立ち上げを提案。

ウ 国際場裡での諸課題についての対話を強化するため、日・キューバ国連対話の創設を提案。

(4) 2日午後、岸田外相は、今次訪問に同行した日本企業関係者とともに、カブリサス閣僚評議会副議長と会談を行った。岸田外相は、両国の経済関係強化に対する期待を表明するとともに、そのためにはキューバのビジネス環境整備がきわめて重要である旨述べた。また、同席していた日本企業関係者からは、キューバへの関心の高さが表明されるとともに、キューバ側へのビジネスに関する要望が伝えられた。

(5) 2日午後、岸田外相は、ラウル議長及びフィデル議長をそれぞれ表敬した。

(6) 上記に加え、岸田外相は、日系人慰霊堂参拝やハバナ歴史地区視察等を行った。

2 ラウル議長のアルジェリア訪問

3日からアルジェリアを訪問したラウル議長は、4日、アブデルマレク・セラル首相やアブデラジズ・ブーテフリカ大統領とそれぞれ会談を行った。

3 露国会議長のキューバ訪問

キューバを公式訪問した Serguei Naryshkin 露国会議長は、5日、ラソ人民権力全国議会議長と、6日午後にディアスカネル国家評議会第一副議長と、それぞれ会談を行った。

4 ラウル議長のロシア訪問

アルジェリア訪問後、5日からロシアを訪問したラウル議長は、6日にメドヴェージェフ首相と、7日にプーチン大統領とそれぞれ会談を行い、8日、戦勝70周年記念行事出

席のためロシアを訪問していたトミスラブ・ニコリッチ・セルビア大統領及び金永南（Kim Yong Nam）北朝鮮最高人民会議常任委員長とも会談を行った。9日、ラウル議長は、赤の広場で行われた戦勝70周年記念パレードに参加した。

5 蘭外相のキューバ訪問

キューバを訪問したクーンデルス蘭外務大臣は、7日午前、ディアスカネル国家評議会第一副議長と会談を行った。両者は、良好な二国間関係、経済・貿易分野における発展、オランダからの投資及び二国間貿易の増加を強調した。また、クーンデルス外相は、メデューナ外務大臣代理とも会談を行った。

6 ラウル議長のイタリア及びバチカン訪問

ロシア訪問後、9日からイタリア及びバチカンを訪問したラウル議長は、10日、法王フランシスコ及びマッテオ・レンツィ伊首相とそれぞれ会談を行った。

7 オランダ仏大統領のキューバ訪問

(1) 10日から12日、オランダ大統領はフランス大統領として史上初めて、キューバを訪問した。

(2) 11日、ラウル議長及びフィデル前議長とそれぞれ会談を行った他、ハバナ大学にて講演を行い、また、ホテル・セビージャで開催されたキューバ・フランス企業フォーラムにも出席した。

(3) 12日、オランダ大統領は、ラウル議長に見送られて、ハイチに向けキューバを発った。

8 IFAD総裁のキューバ訪問

キューバを実務訪問したカナヨ・ウワンゼ国際農業開発基金（IFAD）総裁は、16日午後、マチャド・ベントウーラ国家評議会副議長と会談を行った。両者は、キューバにおける農業部門の発展につき協議し、また、キューバとIFADの間の協力関係の深化の継続につき一致した。

9 法王のキューバ訪問準備会合の開催

13日午後、9月19日から22日に予定されている法王フランシスコのキューバ訪問のための準備会合が、ハバナで開催された。

10 アンゴラ副大統領のキューバ訪問

当地を公式訪問したマヌエル・ヴィセンテ・アンゴラ副大統領は、18日、カブリサス閣僚評議会副議長及びディアスカネル国家評議会第一副議長とそれぞれ会談を行った。

1 1 セルビア大統領のキューバ訪問

当地を公式訪問したトミスラブ・ニコリッチ・セルビア大統領は、19日、ラウル・カストロ国家評議会議長と会談を行った。会談後、ラウル議長は、キューバ共和国国家評議会が授与する最高の勲章である、ホセ・マルティ勲章をニコリッチ大統領に授与した。また、ニコリッチ大統領は、フィデル・カストロ前国家評議会議長とも会談を行うとともに、同前議長に対しセルビア共和国勲章を授与した。

1 2 中国海軍艦艇のキューバ常駐の中止

20日、読売新聞は、中国・キューバ間で一度は合意された中国海軍艦艇のキューバ常駐を、2014年後半になってキューバ側が撤回したと報じた。同報道によれば、キューバ側からの提案に応じる形で、中国はキューバへの艦艇の派遣を決定し、2014年7月に習近平国家首席がキューバを訪問した際、艦隊の派遣の方針を確認し、最新鋭ミサイル駆逐艦を常駐させる方向で準備を進めていた。しかし、その後キューバ側が態度を一変させたとのこと。

1 3 在ワシントン・キューバ利益代表部の銀行業務問題の解決

在ワシントン・キューバ利益代表部は、21日、同利益代表部への銀行サービスに関する問題は解決され、それにより、領事サービスを完全に再開することが可能になると発表した。

1 4 外交関係再開に向けた第3回米・キューバ政府間協議の開催

21日及び22日、外交関係再開に向けた第3回米・キューバ政府間協議がワシントンにて開催された。同協議終了後、キューバ外務省は声明を発出し、キューバをテロ支援国家リストから除外するとのオバマ大統領の決断を評価、両代表団は大使館の機能（funcionamiento）に関する問題につき協議を継続することに合意した旨発表した。

1 5 ディアスカネル第一副議長のエルサルバドル訪問

故オスカル・アルヌルフォ・ロメロ神父の列福式に出席するためエルサルバドルを訪問したディアスカネル国家評議会第一副議長は、22日、サンチェス・セレン大統領と会談を行った。同会談では、今後実施されるサンチェス・セレン大統領のキューバ公式訪問について話し合われた。

1 6 米民主党議員団のキューバ訪問

(1) 23日より、Tom Udall 上院議員（ニューメキシコ州）、Raul Grijalva 下院議員（アリゾナ州）、Al Franken 上院議員（ミネソタ州）及び John Larson 下院議員（コネティカ

ット州) (当館注: 全員民主党) が、貿易、観光、遠隔通信及び文化交流を通じての両国の接近の促進を目的に、キューバを訪問した。

(2) 同議員団は、27日、ハバナで記者会見を行った。会見中、同議員団のリーダーである Tom Udall 上院議員は、対キューバ経済制裁を廃止するための法案に対し両党の議員からの支持が増加している、今日、上院外交委員会では、両党の議員の大半はキューバへの渡航制限解除に賛成である旨述べた。また、記者からの質問に対し、キューバの「政権の交代」を目的とするプログラムについては、米国の民主主義を拡大するための努力として擁護しつつ、政府の弱体化を目的とするような計画には反対であると述べた。

(3) キューバ滞在中、同議員団は、外国貿易・外国投資省、外務省及び農業省関係者、自営業や協同組合関係者と会談を行った。

17 エルサルバドル大統領のキューバ訪問

26～27日、当国を公式訪問したサンチェス・セレン・エルサルバドル大統領は、27日、ラウル議長と会談し、二国間関係や地域及び国際情勢について意見交換を行った。

18 バルデス・メサ副議長の中国・ベトナム・ラオス訪問

5月27日から6月2日にかけて、当地紙は、バルデス・メサ国家評議会副議長が中国・ベトナム・ラオスを訪問したと報じた。同副議長は、中国では劉雲山共産党中央政治局常務委員と、ベトナムではグエン・フー・チョン・ベトナム共産党党首と、ラオスでは Bounnhuang Vorachit ラオス共産党政治局員 (国家副主席) 及び Phankham Viphavanh 同政治局員 (副首相) 等と、それぞれ会談を行った。

19 テロ支援国家指定の解除

30日付当地紙グランマは、29日に米務省がキューバのテロ支援国家指定解除を公表した旨報じた。同紙は、テロ支援国家指定の解除は、対キューバ経済封鎖の緩和を意味しないとしつつも、テロ支援国家指定の解除により、様々な肯定的な効果がもたらされ得るとした。

20 シリア・バース党幹部のキューバ訪問

31日付当地紙フベントゥ・レベルデは、Helal Al Helal シリア・バース党書記長補がキューバを訪問し、マチャド・ベントウーラ・キューバ共産党第二書記 (国家評議会副議長) 及びラソ人民権力全国議会議長等とそれぞれ会談を行った旨報じた。

21 要人来訪

- (1) 岸田外務大臣
- (2) Serguei Naryshkin 露国会議長

- (3) クーンデルス蘭外務大臣
- (4) オランダ仏大統領
- (5) カナヨ・ウワンゼ国際農業開発基金総裁
- (6) マヌエル・ヴィセンテ・アンゴラ副大統領
- (7) トミスラブ・ニコリッチ・セルビア大統領
- (8) サンチェス・セレン・エルサルバドル大統領
- (9) Helal Al Helal シリア・バース党書記長補

2.2 要人往訪

- (1) ラウル議長のアルジェリア・ロシア・イタリア・バチカン訪問（カブリサス副議長，ロドリゲス外務大臣，シントラ・フリアス革命軍事大臣同行）
- (2) ディアスカネル第一副議長のエルサルバドル訪問
- (3) バルデス・メサ副議長の中国・ベトナム・ラオス訪問